

ず双方の間で情報の交換を密にし、その上で協力事業を探っていく。

(3)コンピュータ・ネットワークの具体化について：当面、各会員がインターネットあるいはパソコン通信に積極的に加入するよう働きかけ、またそのための啓蒙活動をすすめていく。その過程で必要性和経費に応じ協議会独自のコンピュータ・ネットワーク構築をはかる。なお、インターネットのWWWにおけるホームページの開設については、サーバーが決まりしだい早急に開けるよう準備する。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

「病院図書室研究会との懇談会報告」

日時：平成8年6月29日 10:30～12:30

会場：名古屋市内 レストラン「ふらいぱん」

出席者：近畿病院図書室協議会と病院図書室研究会の各役員、計9名。

テーマ：今後の協力のありかたについて

合意内容：

1. 近畿病院図書室協議会と病院図書室研究会は、協力して日本における病院図書室の全般的な向上をめざす。
2. 今後、定期的な懇談の場を持ち、双方の間で情報交換や協議などをおこない、その中で協力事業の具体化についても探っていく。

なお、具体的な事業例としては、①研修会の開催や人的交流 ②コンピュータ・ネットワーク化 ③病院図書室の法的基盤整備への推進 ④情報提供機関・団体や業者への対応、などが話題となった。

概括：

今回、病院図書室研究会が新体制となって初めての交流の機会となった。率直に意見を交換し、かつ今後協力を強めていこうとの考えが一致した意義は大きい。当日は、協力事業の具体化の中で特に研修会の開催について話題となった。しかし、具体的な事業よりもまず双方の情報交換の機会を定

期的に持つことにした。

また、当日は都合により出席はなかったが、名古屋地区の幹事である大橋真紀子氏に会場探しのお世話になった。

(小田中徹也)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★